

早島町議会だより

令和6年 第86号
12月1日

Contents

議長・副議長挨拶	2 P
議員構成	3 P
決算審査特別委員会	5 P
ここが聞きたい! 一般質問	9 P~15P
議会モニター会議メンバー	16P



歓迎『ハクちゃん・チョウさん』
ふれあいの森公園の池で大きく育てね

早島町議会

新体制でスタート

議長に水畑稔議員、副議長に林郁夫議員を選出

議長あいさつ



水畑 稔

町民の皆様には、平素より早島町議会へのご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、令和6年9月の定例議会におきまして、議員皆様のご推挙により議長という大役に就任いたしました。

議員としての経験は浅く、その責任の重さを痛感するとともに、身の引き締まる思いでございます。

現在、早島町では駅周辺拠点整備事業等の大きなプロジェクトが進行中です。他にもやらなければならぬ事業が多々あります。そこには議会と執行機関との真摯な議論により、これらの町政の諸課題に有効な政策を推進していかなければなりません。

議会は二元代表制のもと、行政に対する監視機能をしっかりと

と果たすことはもちろんでありますが、町民の皆様の声をお聞きし、その意見を地域の課題として捉え、町民の皆様の安全安心かつ活力ある早島町の実現に向け、先輩議員と協調しながらご指導を受け、協力し合い全力を尽くしてまいる決意であります。

今後とも、早島町議会に対し町民皆様方の温かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のご挨拶とさせていただきます。

副議長あいさつ



林 郁夫

この度、副議長に選任を賜り、心から感謝を申し上げますと共に、その責任の重さをひしひしと感じている次第でございます。

町議会は、町の政策を審議し、行政を監視する役割があり、町民の皆様の声を行政に反映させ

ていくための場です。

私は、副議長として、議長を補佐し、職務を遂行することは当然であります。効率的で開かれた議会運営と活性化に取り組んでまいります。

私は、議員の皆様方と共に、二元代表制のもと、議会報告会や町民説明会での町民の皆様の見解や提言を受け、各委員会活動や特別委員会でも十分な議論を重ね、町民に町議会を身近に感じてもらえるよう開かれた議会運営をさらに推進してまいります。

町民が安心して暮らせるまちづくりのために一生懸命頑張っております。

今後とも、町民の皆様のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。副議長就任のご挨拶とさせていただきます。

任期満了に伴う選挙実施

議長選挙結果

水畑 稔 議員 6票
船越健一 議員 4票

副議長選挙結果

林 郁夫 議員 6票
真鍋和崇 議員 4票

早島町議会構成

総務厚生常任委員会（5名）

委員長	古田 敬司
副委員長	根木 一
委員	佐藤 辰美
委員	水畑 稔
委員	片岡 正夫

産業文教常任委員会（5名）

委員長	真鍋 和崇
副委員長	平岡江利子
委員	船越 健一
委員	林 郁夫
委員	細田 貴道

予算審査常任委員会（9名）

委員長	林 郁夫
副委員長	古田 敬司
委員	船越 健一
委員	真鍋 和崇
委員	佐藤 辰美
委員	根木 一
委員	平岡江利子
委員	細田 貴道
委員	片岡 正夫

議会活性化特別委員会（10名）

委員長	*林 郁夫
副委員長	*古田 敬司
委員	船越 健一
委員	真鍋 和崇
委員	*佐藤 辰美
委員	根木 一
委員	*水畑 稔
委員	平岡江利子
委員	*細田 貴道
委員	片岡 正夫

*印：議会だより編集委員を兼務

議会運営委員会（5名）

委員長	古田 敬司
副委員長	真鍋 和崇
委員	根木 一
委員	林 郁夫
委員	平岡江利子



議長 水畑 稔

総務厚生常任委員会
議会活性化特別委員会



副議長 林 郁夫

産業文教常任委員会
◎予算審査常任委員会
◎議会活性化特別委員会
議会運営委員会



船越 健一

産業文教常任委員会
予算審査常任委員会
議会活性化特別委員会



古田 敬司

◎総務厚生常任委員会
○予算審査常任委員会
議会活性化特別委員会
(議会だより編集責任者)
◎議会運営委員会



真鍋 和崇

◎産業文教常任委員会
予算審査常任委員会
議会活性化特別委員会
○議会運営委員会



佐藤 辰美

総務厚生常任委員会
予算審査常任委員会
議会活性化特別委員会



根木 一

○総務厚生常任委員会
予算審査常任委員会
議会活性化特別委員会
議会運営委員会



平岡 江利子

○産業文教常任委員会
予算審査常任委員会
議会活性化特別委員会
議会運営委員会



細田 貴道

産業文教常任委員会
予算審査常任委員会
議会活性化特別委員会



片岡 正夫

総務厚生常任委員会
予算審査常任委員会
議会活性化特別委員会

令和5年度一般会計決算等計20議案を審査

手話言語条例を制定

9月定例会は9月6日、26日に開催され、20議案について審議し、全会一致で可決しました。

手話言語条例の目的は

手話言語条例は、町民一人ひとりが、手話について理解を深め、障がいの有無に関わらず、全ての町民がお互いの個性と人格を尊重し、支え合いながら共に暮らせる地域社会の実現を目指すものです。

岡山県内では、県を始めとして、全ての市町村で手話言語条例が制定されています。

議会での主な質疑

Q 真鍋和崇議員 窓口に手話が必要とする人が来た場合の対応は。

A 健康福祉 研修等を通じて、職員が少しでも手話で対応できるよう努める。

Q 舩越健一議員 財政措置はどの程度を想定しているか。また、町内の手話サークルへの周知や協力依頼はしているか。

A

健康福祉 講師の派遣料を見込み、令和7年度予算に計上したい。条例について、

県の聴覚障害者福祉協会と相談しているが、町内の団体への周知は未実施。

【その他の主な議案】

○早島町心身障害者医療給付条例の一部改正

○早島駅周辺拠点整備事業工事の工事請負契約について

○令和6年度早島町一般会計補正予算（第4号）について

○令和6年度早島町一般会計補正予算（第5号）について

○令和5年度早島町一般会計他計7会計の決算の認定について ※決算についてはP5に詳細



請願・陳情

○陳情第14号 介護保険の訪問介護基本報酬引き下げの撤回を求める陳情 — 継続審査

○陳情第20号 「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働は正を求める意見書採択の請願について — 採択

○陳情第21号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情について — 採択

○陳情第22号 早島町におけるAYA世代がん患者の在宅療養支援制度の創設を求める陳情 — 採択

○陳情第23号 早島町におけるアピアランスケアに関する助成制度の創設を求める陳情 — 採択

○陳情第24号 早島町在住男子に対するHPV任意予防接種費用助成制度の創設を求める陳情 — 継続審査

行政視察を受け入れています

令和6年7月2日 京都府久御山町議会

- ・子育て施策・人口減少抑制施策について

令和6年10月15日 東京都目黒区議会

- ・小・中学校における特別支援教育の専門性の向上について

令和6年10月17日 北海道洞爺湖町議会

- ・歩いて暮らせる魅力あるまちづくりについて



令和5年度 決算7議案、 すべて認定

決算審査特別委員会は9月13日から18日の日程で休日を挟み3日間にわたり活発な意見と議論が交わされ、一般会計、特別会計等7議案が原案の通り認定されました。

主な質疑応答

一般会計決算

Q 報償費が昨年より12万円増額理由は。

A 顧問弁護士との弁護士委託料の月額を増額。

Q 防犯カメラ設置補助、4地区10台の地区はどこか。

A ニュー早島1台、塩津4台、日笠山2台、若宮3台。

Q 町内全域でカメラはどれくらい設置しているのか。また利用の有無は。

A 43カ所52台設置、警察の依頼で情報提供している。

Q 委託料について軽度の作業はシルバーに委託すべきでは。

A 広報紙の配送等検討する。

Q 設計委託料495千円の内容は。

A 庁舎非常用発電機更新計画の立案。

Q 町のホームページ（HP）の更新は担当者が日々確認すべきでは。

A 課長会議で注意喚起しているが、周知できていない。HPは町民とのパイプ、再徹底する。

Q ふるさと納税者への返信は。

A 寄付のお礼はしているが、使途までは報告していない。



Q 保育園でふるさとづくり基金を使ったが、民間施設への支給は妥当なのか。

A 保育園もそうだが、駅の嵩上げにも使った。民間施設に使うこと自体は問題ない。

Q 監査委員報酬の引き上げ、外部監査も検討すべきでは。

A 他町村の動向も踏まえ、日額制も視野に入れて議論を進める。

Q 早島町社会福祉協議会交付金について。

A 重複事業を整理すべきではないか。

A 事業仕分けの必要性があり、検討していく。

Q 公共交通のあり方について

A タクシーチケットについても問題が見えてきており、整理整頓する。

Q 備品購入費7315千円の内容は。

A 小型動力ポンプ1基（第9部）、積載車（第5部）の購入費。

Q 災害時の備蓄食料としてアルファ米を備えているが、水道が使えない場合はどうするの

か。レトルトなどそのまま食べられるものが良いのではないか。

A 備蓄の主なものでは水を必要とするものが多い。備蓄の幅を広げていきたい。

Q 残業が多い。業務の平準化が必要ではないか。

A 職員の意識改革を進め業務内容を見直し、平準化に努める。



Q 予備費を増やし弾力的運用をすべきでは。

A 財務規則を確認し、議会の理解が得られれば、対応を検討する。

Q マイナンバーの交付率は。

A 令和5年度末80・8%、コンビニ利用率39・6%。

Q 利用料減免はいつまでか。

A 令和7年3月末まで。

Q シルバーへの登録人数、実際に仕事をしている人数は。

A 令和5年4月1日現在で、会員127名、就労89名、会員数2名増、就労10名増。

Q 災害救助費の内容は。

A 火災の見舞金。

Q この予算は火災のみで自然災害の定義はない

Q 水路整備補助金が当初の予定ほど使われていない理由はどう考えるか。

A 町として水路整備を進めていこうという方針も補助金が使われなかった要因の一つと考える。

Q 町道1号線の工事進捗は。

A 予定通り7年度末におおむね完了、8年度初頭に舗装等を行い供用開始。

Q 小学校費、工事請負費の繰越明許費の内訳は。

A 小学校の照明LED化、侵入防止対策カメラ設置工事

等、5年度に予算化して6年度に繰越した方が、補助金の関係で有利であった。

Q 小学校と中学校の就学補助の人数は。

A 小学校85名、中学校62名。就学補助は一律ではない。

Q 不登校対策のふれあい教室の認知度が低いのでは。

A 学校長と問題点を共有してふれあい教室の存在意義を高めたい。

Q 部活動指導員の地域移行を行った場合の経費増は。

A 令和5年度決算額では足りない。現状の指導を維持した場合、検討が必要。

Q 幼稚園の業務のすみ分けが学校教育課とこども未来課でできているのか。

A この1年検証した上で見直し、検討する。

Q ゆるびの舎の図書館での印刷は著作権に該当するの

か。

A 図書館が著作権協会に払う事はない。

Q 飼い主のいない猫不妊去勢実績は。

A 令和4年0件、令和5年6件、19匹。愛護団体、民間

事業者との連携が必要なので補助金については検討を要する。

Q くみ取りの戸数の推移は。

A 令和4年が71世帯、令和5年が64世帯。

Q 早島斎場の利用件数は。

A 令和3年度152件、4年度173件、5年度147件。

Q 耐震診断事業補助金665千円は何軒分か。

A 11件で165千円、残りは改修500千円。

Q 未診断の家屋に対する広報は。

A 広報紙への掲載、パンフレット製作等。



Q 下前潟の土地を無償貸与しているが、イベント等の貢献があるので、賃料を取って補助金を交付した方が適当ではないか。

A 年度毎申請をしていて、地域貢献の観点から無償としていた。また、公有財産に関する規則に行政財産の目的外使用が適正と考えた。改めて公有財産管理運用委員会に諮って適切な事務処理を図る。

国民健康保険特別会計決算

Q 被保険者が減っている。将来的に法定外繰り入れの検討は。

A 令和5年単年度収支だと3448万円ほど赤字。基金を崩すことはないが、今後、県主導による平準化の方向、議論の行く末を見極めていく必要がある。

Q 特定検診受診者の推移は。

A 令和4年40・8%、令和5年43・0%他町村と比較すると27市町村中12位。矢掛、里庄と比べると若干低い。

介護保険特別会計決算 (保険事業)

Q 介護保険の保険の給付費の伸び率はどの程度か。

A 令和5年度が約10億800万円。6年度は5年度と比較して1300万円程度伸びると推測している。

介護保険特別会計決算 (介護サービス事業)

Q 包括の一部を外部委託する考えはないか。

A 困難事例は包括で持ち、包括、社協ですみ分け後分担したい。



後期高齢者医療保険 特別会計決算

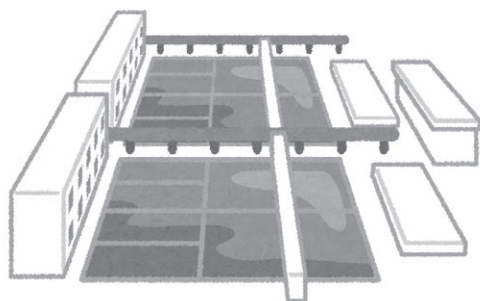
Q 後期高齢者の保険証は、通常の保険証と同じ名刺サイズにならないか。

A 令和6年12月2日以降に送付される資格確認証の大きさは、現在の後期高齢者医療保険証と同じ大きさになる予定。

公共下水道事業 特別会計決算

Q 大内田経由での排水を止めるのはいつか。

A 今年度末での工事完了を予定している。



一般会計補正予算(第4号)を全会一致で可決

【予算審査常任委員会】

委員からの主な質疑

幼稚園給食提供事業の 債務負担行為補正

Q 現在の喫食率の状況は。

A 過去に調査した欠食率は、6%であった。

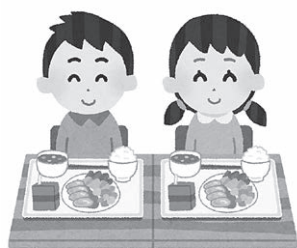
Q 喫食率の詳細な調査を実施すべきでは。

A 調査し、結果を報告する。

Q 今後の給食提供事業の実施を含む、幼稚園の将来構想

は。

A 時間がかかるが、幼稚園の将来構想について検討する。



Q 給食提供事業者に対し、可能な限り早島町産の食材を利用するなど地産地消への取り組みを求める。

A 業者選定の際には、地産地消の取組を求めている。

一般会計補正予算 (第4号)

Q 新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金の給付内容は。

A 被害給付認定者は1人、他の被害給付については、把握していない。

Q ふれあいの森公園内のなら枯れの被害状況と対策は。

A 拡散防止のため、発生木を10本処理した。

債務負担行為とは

年度をまたいで支出をする必要がある事業について、あらかじめ次年度以降の予算確保を認めるものです。

「早島町手話言語条例の制定について」 は原案のとおり可決

【総務厚生常任委員会】

Q 第3条で、「手話を使用しやすい環境の推進について。

A 児童を対象とした普及啓発も、教育委員会と連携し実施していく。

Q 町内の手話サークルや県の手話担当機関等との連携についての考えは。

A 第3条で町の責務、第5条で事業者の役割を規定している。

町内イベントでも、必要に応じて手話通訳の派遣依頼等行つて、聴覚障がい者の支援をしていく。職員に対しても定期的に講習できるように取り計らう。

Q 専門的な知識のある方の指導による、全体計画を作成し施行後すぐに発表すべきでは。

A ご指摘の通り前向きに実行したいと思う。

陳情第22号 早島町におけるA Y

A世代がん患者の在宅療養制度の創設を求める陳情について

↓採択

陳情第23号 早島町におけるアピ

アランスケアに関する助成制度の創設を求める陳情について

↓採択

陳情第24号 早島町在住男子に対

するHPV任意予防接種費用助成制度の創設を求める陳情

↓継続審査

※今定例会より陳情の意見陳述を行いました。



早島駅周辺拠点整備工事の工事請負 契約については原案のとおり可決

【産業文教常任委員会】

Q 工事の進捗状況と問題点は。

A 7月までの工事は予定通り進んでいる。心配していた

駐輪場の移設にともなう、利用者の方の移動に関しても上手くいった。

Q 工事に関する地区公聴会でどのような意見がでたか、またその受け止めは。

A 乗降客3000人を目指す上での取り組みとその結果

の報告が抜けているのではないかと意見があり、バリアフリー化の必要性については一定のご理解がいただけた。

Q 契約の方法が随意契約になっているが、その理由は。

A 特命随意契約で進めている理由は、工事を合理的に進めるため、またJRの運行に影響がある範囲の工事の為、中四国で実績のある会社を選択した。

陳情第20号 「持続可能な学校の

実現をめざす」実効性のある学校の働き方改革、長時間労働是正を

求める意見書採択の請願について

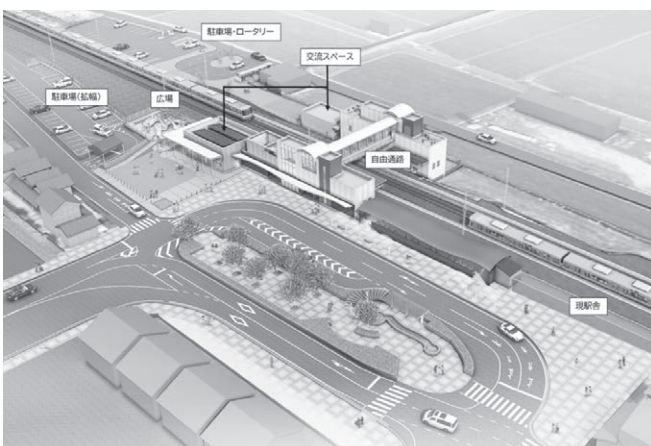
↓採択

陳情第21号 教職員定数改善と義

務教育費国庫負担率引き上げをはかるための2025年度政府予算

に係る意見書採択の陳情について

↓採択





YouTube

一般質問の様子はこちら



片岡正夫 議員

問

防災の面から暗渠水路の浚渫はできているのか

答

平成17年から実施していない。最大で50センチ堆積している

防災（水防）対策

問 大雨予報時に事前排水を行っているが、近年はヘドロの堆積や川底の瓦礫等が目立つ。水位を下げてどれほどの効果が期待できるのか。

答 町長 水路の排水対策は非常に重要であり、町内の浸水リスクを軽減することが期待される。現在町内の幹線水路から順次浚渫を実施している。

答 建設 町内の水路延長は約82キロに及び、各水路の規模・断面が異なるため、

具体的な数値は示せないが、樋門ゲートを開閉して水位を下げるのに約6時間を目安にしている。で、一時貯留には効果が期待できる。

問 小浜の樋から塩津の県道沿い、いかしの舎南の裏川筋、農協前の二間川筋など暗渠になった部分のヘドロ等の堆積はどれくらいか。

答 産業 県道沿い小学校前で約50センチ、裏川筋で約40センチ、二間川のマルナカ前で約15センチという状態である。

問 建設以来清掃を

何回行ったか。また、最後に清掃したのはいつか。

答 産業 平成13年度から平成17年度にかけて浚渫を行っている。それ以降は実施されていない。

問 町内ほとんどの地域の雨水を排水機場に流す重要な水路である。それらを長年の間清掃しないで、ヘドロの堆積によつて貯水量が減っているのは明らか。

答 産業 排水機場を改修し、能力向上の計画を進めるとともに接続する水路の浚渫を行い、排水機改修の効果が最大限に発揮されるよう努める。

暗渠水路については、過去の浚渫から20年が経過してい

る。早急な対策が必要である。調査をしたうえで、来年度から実施していく。

学校教育施設のグランドデザイン

問 小・中学校共に、築50年以上が経過した建築物だが、維持管理にも多大な費用を費やしている。近未来には建て替えが必要となってくるが、どう考えているのか。

答 町長 基本的な点検と修繕を行いながら、現行の施設を可能な限り維持、利用をしていく。

問 少子化の中、魅力ある教育施設が人口流入に繋がると思う。小中一貫教育の義務教育学校のグランドデザインを描いてみる考えはないか。

答 町長 今現在す

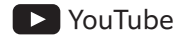
ぐに義務教育学校を造る考えはない。

問 町の将来を見据えて、教育施設をはじめ、公共施設のインフラ整備を数値化したグランドデザインの検討をすべきでは。

答 町長 以前より、小学校体育館、中央公民館等のグランドデザイン、ロードマップ作成の指摘を受けている。建設物価、資材高騰もあり、早急にロードマップを作成し、大きな金額等の数字を出し、検討したい。

【その他の質問】

○災害時の備蓄品確保のための防災協定の拡充



一般質問の様子はこちら



平岡江利子 議員

問 災害発生時、ペット同伴可能な指定避難所の設置を

答 ペット同行や同伴が可能か選定の上、避難場所を明示する

問 町避難マニュアルには、ペット受入れの項目はあるが、一緒に避難可能な場所の明記はない。災害時、指定避難所にて、ペットと同建物内、同室内で過ごせるよう考えていたいただきたい。

答 町長 避難場所開設時に明示するとともに、屋外また別

室での受入、様々な事態を想定し、避難場所全体として適正な環境確保に努めていく。

要望 情報発信すること、飼い主の方が安心し、躊躇なく避難ができるので、ぜひ実施していただきたい。

女性が安心して過ごせる避難所の環境整備を

問 授乳、生理用品、物干し場、着替え、こういったデリケートな部分に対してはどのような配慮があるのか。

答 町長 女性が使用するトイレ、更衣室、授乳室は異性の

目が気にならない場所へ設置、お風呂の利用時間を男女別に設定し、プライバシーに配慮した物干し場とすることになっている。

防犯対策への助成金について

問 高齢者に対し、カメラ付インターホン補助金制度の導入を。

答 町長 犯罪被害の防止については自主防犯組織や自治会と連携し、安全を守る取組を推進する。

要望 高齢者の安全・安心、防犯対策として、今後とも前向きな検討を。

部活動の地域移行と指導員について

問 地域移行について保護者側から多数反対意見が出てい

る。もっと保護者、生徒の声に耳を傾け、方向性を決めていただきたい。一番懸念されることは、入会金、月会費の負担、また開始時間が遅く、それに伴い生徒の帰宅が遅くなることへの不安。共働

きの家庭も多く、送迎が難しい家庭もあり、心配もある。

上達する、試合に勝つ、だけでなく、楽しく活動したいと思っている生徒は多数。そういった生徒の気持ちを大切に、そして保護者からの意見を考慮し、地域移行を慎重に進めていきたい。

答 教育長 参加費が高額にならないよう、軽減する方策を検討している。必要に応じて低所得家庭への支援策の導入も検討し、経済的負担

を抑えるよう努めていく。

活動時間帯については、指導者が、仕事とクラブ活動を両立させる必要があり、19時以降開始に設定が避けられない状況。後半の時間帯での活動は、終了時刻が遅くなり、保護者に心配をかけることは懸念事項と認識しているため、早い時刻から開始できる指導者の確保も課題と考える。

要望 移行されたからといって止めることを選択する生徒が出ないよう、充実した地域クラブを創っていただきたい。今後とも検討し、より良い方向に向けた移行を実現していただきたい。



YouTube

一般質問の様子はこちら



古田敬司 議員

問 助言から一步踏み込んだ措置を 答 担当課と協議し何らかの対応を行う

問 町内で特定空き家として認定された物件に対して、空き家等の所有者は法第三十条の規定により周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないよう空き家の適正、適切な管理を行わなければならないと明記されている。

答 特定空き家の件数、及び所有者に対する助言、指導状況は。
答 町長 本町の空き家件数は令和三年度調査では93棟、この中でもそのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となる特定空き家が8棟と

なっている。除去に当たっては担当者が所有者と相談しながら、弁護士、司法書士、土地家屋調査士に助言をいただくなど、一緒に課題解決に取り組み、除去に結び付くよう指示を行っている。

答 建設 特定空き家として認定した際、その所有者に対して文書による通知を行い、早期除却に向けて補助制度の活用を促し、跡地活用についても相談に乗るなど対応してきた。除却について建物の相続がなされて

いないことが一番の課題である。

問 特定空き家は地域の生活環境に悪影響を及ぼしている。今一度整理し、助言から踏み込んで勧告等大胆な措置も考えるべきではないか。また補助金引き上げ、狭あい道の拡幅、固定資産税の減免等、所有者が解体等に同意できるように町独自施策の見直しを検討していただきたい。

答 建設 町内における解体費用の実情から補助金見直しの必要性は少ないと認識している。住環境への悪影響については環境の担当課と協議し何ができるか、何らかの対応を行う。

問 急傾斜地崩壊対策
土砂災害警戒区

域に町内12カ所が指定されているが、急傾斜地崩壊対策事業に係る法律で、山の斜面が30度以上、5m以上の高さで、麓に家が10軒以上の場合、国の補助対象、5軒までは県が補助とあるが、今もその条件が適用されているのか。

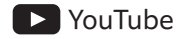
答 町長 現在も適用されており、指定に際し、対象区域全域の同意書が必要となる。これまで長津、畑岡地区の2カ所が県の急傾斜地崩壊対策事業で対策を実施している。

問 崩壊補強対策の受益者負担50万円の拠出は年金受給者にとつて大金であり、日々の安全・安心を確保するためにも行政として負担金の減免、負担金の支払い方法の見直しを求め

る。
答 建設 徴収条例施行規則で分担金の納付方法は一括納付を原則としているが、但し書きで分割できるとなっている。当該事業はあくまで地権者全員の同意が必須で同意があつて初めてスタートする。

また、毎年災害警戒区域の目視点検を行い、調書は県を通じて国へ提出している。
問 該当自治会、住民にも報告すべきではないか。
答 建設 異常、変化があれば報告、説明も必要と考える。





一般質問の様子はこちら



眞鍋和崇 議員

問 防災計画改定のめどは

答 しめす 11月、防災会議を開催し、素案を

問 防災計画の見直しのめどは。

答 町長 近年の災害情勢に合わせアツプデートし、公約である防災機能を有する公園・施設・設備等を書き込む。

11月、防災会議に素案を示す。

問 前回、休日等に大規模災害が発生し職員が揃わない場合

でも避難所開設できるように求めた。

併せて、水道の耐震化を進めるため、水道事業会計へ一般会計からの繰入れを提案した。検討状況は。

答 町長 避難所入り口へのキーボックスを設置。迅速な避難に資する。

水道の基幹管路の

耐震化率は64.4%。水道管の耐震化は重要。来年度に審議会に諮り検討。

「のびのび過いせる公園」とは

問 「子どももお年

寄りもののびのび過いせる公園の整備」を町長は公約した。

南グラウンドは有料の体育施設だが、朝

や夕方など予約が入っていない時間帯は親子や友達同士でキヤッチボールや走ったりと自由に過ごせる場所だ。今夏から自由に使えるようになった。その理由は。

答 生涯学習 バックトを使用した野球は禁止だが、予約せず利用した方の野球のボールが隣接の保育園に入る等、近隣に迷惑をおかけすることが多々あったため施設した。

問 基本的に安全な利用環境を整備するのが行政の役割。

フエンスを高くする等対策を講じることでできるのでは。利用団体の利用の幅も広がる。

答 生涯学習 都市計画道路の予定地で、二重投資は難しい。伸び伸びと遊べ

る施設が本町で不足しているのでは。南グラウンドまで自由な立入りが禁止となれば町長の公約はどんな遠のく。

本気で子どもたちが伸び伸びと遊べる公園やグラウンド等の整備を。

答 町長 公共施設の在り方を検討する上で課題の一つ。

部活動の地域移行と保護者負担

問 学校が担ってきた部活動を社会教育で受け止めるとして

保護者負担を軽々

に求めることなく、指導推進を維持するための予算支出の議論を。

【その他の質問】

答 教育長 公的負担を投じるか、町長部局とも整理をする。

○執行部の政治姿勢
○機構改革の成果と課題
・病気休業の職員の増加の原因と対策
○北部住環境の保全改善について

○放課後児童クラブの民間事業者の誘致を
○ホームページ管理の改善を

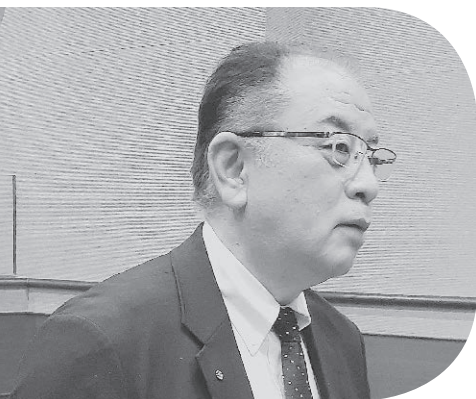


有料利用者以外の使用が禁止された南グラウンド



YouTube

一般質問の様子はこちら



細田貴道 議員

問

公約実現と業務の効率化のための戦略的行政組織改変が必要

答

今春の機構改革の効果検証をし、来年度の組織体制の構築を検討する

問 組織再編、機構改革は単に組織のあり方を変えるという事ではなく、より効率的に事務を遂行し迅速に目標を達成する。そして何より大切なのは、職員の方々が働きやすい環境で、やりがいを持って職務を遂行する事ができる働き方改革の一つ。

答 正な職員数の確保。行政の連続性、スキルアップの面からも、全職員数の中の会計年度任用職員の割合が多い現状に鑑み、正職員数のウェイトを増しバランスを矯正すること。年功序列ではなく、年齢性別に関係なく実力のある職員を適材適所に配置すること。

以下の具体的提案をする。
現在の企画課の名称を「戦略企画課」「経営企画課」「企画財政課」等に名称を変更し、新規事業達成の牽引役として位置づけ、全体としての方向性を明確にする。

現在建設課が持つ都市計画関係と、総務課が持つ財政を企画課に移す。
現在企画課が持つコミュニティバス、自治会・町内会に関する業務を総務課、町民課に移す。

課のグループ化については、建設課、産業課、環境上下水道課を一グループ。学校教育課、生涯学習課、こども未来課を一グループ。その他の課を一グループにし、それぞれに新たに担当理事、もしくは部長職をつくり、権限と責任を明確にすることでリーダーシップを強化して、連携を図る。

このような強力な布陣で町長のビジョンを明確にする組織作りの考え方が必要と思われるがどうか。

答 町長 今春に行った機構改革の効果検証を踏まえつつ、来年度の組織体制の構築を検討する上で参考にする。

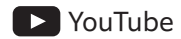
答 副町長 現在も連携という部分については四グループあるが、施策を煮詰めていく中でのグループ内、グループ間での連携は弱いと感じる。

グループを束ねていけば、推進力、総合力も違ってくる。町長の意向を踏まえれば、部課長会議も意義がある。

幹部職員も含め、こういった形で重層的に縦横斜めという形で補完できるかも大きなテーマ

町長の意向を伺いながら、考えていきたい。





一般質問の様子はこちら



佐藤辰美 議員

問 答

非常用発電機価格：①予定価格800万円②市場価格324万円
③定価681万円④落札率199.51%。これは背任行為ではないか

岡山県公共工事建設資材単価決定要領に基いて3社(合特法対象?)から見積を取り寄せ最低価格を予定価格とした

行政の法律主義、早島町の事態は

問 議員時代及び首長として、過去の町政の感想を問う。

答 町長 過去の説明責任が十分ではなかった点を反省し、これからの町の為に、議員に御協力願いたい。

問 残りの任期、法律主義をどう徹底するか。

答 町長 公務員として法律主義を徹底することは当然。

背任罪の構成要件と事実

問 背任罪の構成要件。①他人のために事務処理する者が②図利・加害目的で③任務違背行為を行い

④財産上の損害を生じさせる。

答 環境上下水道

新設の150KVAの発電機改造等により価格が上がった。

官製図書の利用状況

問 図書の所有権、管理権、利用権を明確に。

答 総務 課長以上

の決裁で購入可能(課長20万円他)

問 著作権について

答 総務 著作権法第31条により、私的利用のための複製は可能と認識。

監督員の業務

問 早島町にその内容と実績についての公文書はあるか。

答 町長 75KVA、150KVAは前町長の時代の事案であるが、精査して瑕疵のないよう町民の期待に応えたい。

過去の一般質問の再確認

問 150KVAの発電機の燃料タンクの容量を250Lから200Lになぜ変えたのか。

答 環境上下水道

倉敷市火災予防条例に基づき200Lに改修した。

職員の職場環境の早期改善を問う

問 自殺対策基本法の実施。

答 町長 「健康はつらつ早島21」を策定し、心の健康等を把握し改善に努めた。条例の制定は考えていない。

防災無線の不具合について

問 不具合があったのは全国で唯一か。

答 全国で3自治体。
問 不具合発生の場合、再発防止策は必須であるが、工事不具合対策を問う。
答 総務 適切な工事をした結果である。



景観に配慮した適宜適切な維持管理を



YouTube

一般質問の様子はこちら



根木 一 議員

問

給食費の無償化を実施しているが継続の意思はあるか

答

引き続き学校給食の無償化を持続可能な形で続けるよう努める

問

带状疱疹ワクチン

ワクチン接種の取り組み

問 我が町は、町長の選挙公約で給食費の無償化を実施しているが、来年度からの実施は財源をふると納税の増額分を利用する等を考えて継続する意思があるのか。

答 町長 来年度以降の無償化の継続は、あらゆる財源確保の手段を検討して、引き続き持続可能な形で続けるよう努める。

問

女性のHPVワクチン予防接種の定期接種の接種率と人数、キャッチアップ接種の対象者の接種

率は、現在は予防接種法上位置づけのない任意接種のワクチンで、一部の自治体では、県内では、和気町などが接種費用を助成している。

答 町長 近い将来、定期接種化が正式に決定するものと思っている。本町では、国の定期接種化の決定に合わせ带状疱疹ワクチンの助成を考える。

問

RSウイルス感染症は、大人も子どももかかる呼吸器系の感染症。高齢者の場合、基礎疾患を持つている方は、重症化するのが現状。新しいワクチンであれば町においても積極的に取り組む価値のある政策では。

答 町長 高齢者に対するRSウイルスワクチンの予防接種の助成は今後の国の調査研究、議論並びに方針等を見据えな

率と人数は。

答 町長 接種率は令和5年度定期接種の対象となる女児約270名のうち約70名が接種、接種率は27%である。キャッチアップ接種の対象者は約400名。接種した者は約40名で、接種率は10%。国の基準に合わせて本年度終了する。

問

国が奨励しているのは、新しい本を

国が奨励しているのは、新しい本を

国が奨励しているのは、新しい本を

学校図書館の充実

から適切に判断していく。

答 教育長 小学校では、昨年度に413冊の更新を実施し、中学校では、今年度夏休み期間中に30年以上前の古い本を中心に200冊の除籍廃棄を行った。小学校、中学校ともに今年度予算を有効に活用し、新しい図書の購入も行う。

今後も、子どもたちに最新の情報を提供するため、引き続き蔵書の更新に努めてまいります。



議会モニターのメンバーが増え、 7人になりました

よろしくお願いします。

新メンバー



太田 康さん
(長津)

議会に期待すること

早島町の議会は先進的で、早島町を活性化していると納得できる議会であって欲しいと思います。



ボーマン三枝さん
(若宮)

議会に期待すること

町民・行政・議会の協力の輪(和)を広げる“コミュニケーションリーダー”であって欲しいです。

投稿募集

▼応募規定

①町内で撮影された写真で未発表のもの

▼応募方法

①作品（1人1点）には左記の事項をご記入ください。

住所・氏名・作品のタイトル、コメント
(50字以内)

②郵送の場合は、返却希望の有無もご記入ください。

デジタルデータの場合は、メールに添付の上お送りください。

▼その他

①人物が特定できる場合または個人の所有物である場合は、必ずご本人の承諾を得てください。

②採用された作品の使用権は、早島町議会広報特別委員会に帰属します。

また、使用に当たり加工させていただく場合がありますので、ご了承ください。

応募先：早島町前潟360の1

早島町議会事務局 議会広報宛
gikai@town.hayashima.lg.jp

編集後記

紅葉の季節もあっという間に過ぎ、日に日に冬が近づき、鍋が恋しい季節となりました。9月議会で新議長、副議長が選出されました。新体制の下「議会だより」編集委員も2年ごとの入れ替わりで、本号より新たに5名のメンバーでスタートしました。議会の審議状況および活動の実施等について、広く町民の方々に読んでもらえる、読みたくなる紙面づくりを目指すので、よろしくお願いします。

議会広報特別委員会
編集責任者

古田 敬司
佐藤 辰美
林 郁夫
水畑 稔
細田 貴道